

マーケットの動き（2022年7月4日～7月8日）

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

前週末に発表された米国ISM製造業景況感指数の結果を受け、米国金利が低下したことから国内株式は上昇してスタートしました。週末に米国雇用統計の発表を控え上値の重い場面もありましたが、原油価格の下落に加え、FOMC（米国連邦公開市場委員会）議事要旨の公開により金融政策の不透明感が後退したことも追い風となり上昇しました。週末にかけては、安倍元首相の銃撃報道を受け上げ幅を縮めて週を終えました。

投資環境見通し（2022年7月）

国内株式相場は方向感に欠ける展開

企業業績については、原材料高に加えて米国および欧州景気の先行きに対する警戒感が残りますが、経済活動再開に対する期待に加え、円安が輸出関連企業の業績見通しを支えと考えられます。国内株式相場は、こうした業績見通しに加えて参議院選挙を控えた政策期待に支えられる一方、米国および欧州景気の先行きに対する懸念が重しとなり、方向感に欠ける展開になるとみています。

	7月8日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,887.43	2.30%	▲4.19%	▲5.42%	▲1.71%
日経平均株価	26,517.19	2.24%	▲6.08%	▲6.89%	▲5.69%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202207_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2021年6月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成